JST 共創の場形成支援プログラム（地域共創分野・育成型）「患者と家族と医療従事者のライフデザインを実現するスマート在宅治療システム拠点」

信州大学スマート在宅治療プロジェクト
第1回対話型ワークショップ

「大町の医療を知る、未来の医療を考える」

第1回ワークショップ参加者募集！

※1回のみのご参加も可能です

日時 2022年6月9日（木）16:00～18:30

場所 ハートピア仁科の里
（大町市総合福祉センター）
長野県大町市大町1129番地

対象 どなたでも参加可能

定員 30名（定員に達ししだい受付を修了します）

費用 参加無料

参加申込
- 右記QRコード
- 裏面FAX

（申込締切 6月7日(火)）

▲申込用QRコード

主催：信州大学　共催：市立大町総合病院
信州大学　学術研究・産学官連携推進機構　スマート在宅治療プロジェクト
TEL:0263-37-2037　Eメール：nagano-orchestration@shinshu-u.ac.jp
ホームページ：https://www.shinshu-u.ac.jp/coi-next-sams/

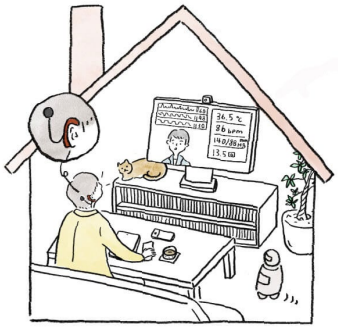
COI-NEXT　信州大学 SHINSHU UNIVERSITY

ワークショップの目的

住む場所にかかわらず誰もが安心して暮らすためには、医療の問題を避けて通ることはできません。

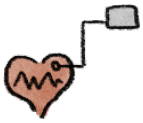
このワークショップでは、大町の医療を皆さんと一緒に学び、未来の大町のあるべき姿を共有し、あるべき姿に向けて何が必要なのかを考えることを目的にしています。

大町のこれからの医療サービスが気になる方、地域医療に携わる方、在宅介護や生活支援に携わる方、病気になったときの生活が気になる方など、どなたでも参加可能です。皆さんのご意見を聞かせてください。



タイムテーブル

時 間	内 容
16：00－	あいさつ（信州大学バイオメディカル研究所長　齋藤直人）
16：05－	プロジェクトの説明～大町の医療はどうなっているのか～ （信州大学医学部准教授　青木薫）
16：20－	ワークショップ 前半 「みんなで医療を考える～病気や健康増進どんなことを気にしてる？～」
17：15－	休憩
17：25－	ワークショップ 後半 「みんなで医療を考える～病気になったらどうする？～」
18：30	終了



※新型コロナウイルス感染拡大防止へご協力をお願いします

ご来場前に体調チェックをお願いします。以下に該当する方はご来場をお控えください。

- ■37.5度以上の発熱（平熱と比べて高い発熱）や次の症状がある方：咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐等の症状
- ■新型コロナウイルス感染症陽性とPCR検査で判定された者との濃厚接触がある方
- ■過去２週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある方

FAX送付状（0263-37-3425）

お名前		電話番号	

▼ワークショップの参考にさせていただきます。当てはまるものに〇をしてください。

年代	10代　20代　30代　40代　50代　60代　70代　80代　90代
出身地	大町市　大町市周辺地域　長野県内　国内　国外
職業	学生　会社員　自営業　団体職員　公務員　無職
病院への通院頻度	数年行っていない　年1回～2回　月1回　週1回